

学術・政策プラットフォーム（仮称）

第1回勉強会

「米国政権交代とサイバーセキュリティ政策」

国際大学 GLOCOM では、2017 年 2・3 月に全 3 回（予定）にわたって、情報通信技術分野の最先端の課題や論点を取りあげた勉強会を開催いたします。各回のテーマに対し、民産学官それぞれの幅広い専門分野、経験値、世代をまたがる皆様にご参集いただき、議論を展開します。

また本勉強会の発展型として、2017 年度より「学術・政策プラットフォーム（仮称）」の発足を目指しております。勉強会を通じて今後の議論の場の在り方に関するご意見・ご要望もお寄せいただくことを期待しております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<第1回勉強会 開催概要>

- 日時：2月2日（木）19:00～21:00 *講演30分、議論60分、懇親30分を予定
- 会場：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
(住所：港区六本木6-15-21 ハークス六本木ビル2階)
- 定員：70名（招待制）
- 費用：無料
- 主催：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
- 協力：総務省、経済産業省（予定）
- 講師：土屋 大洋
(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授、国際大学 GLOCOM 上席客員研究員)

講演概要

トランプ政権の主要メンバーが議会承認を受けるには数カ月を要するため、トランプ政権のサイバーセキュリティ政策がどうなるかを理解するにはまだ早い。しかし、ブッシュ政権からオバマ政権交代時に託された秘密作戦の一つがスタックスネットだったことを考えれば、サイバーセキュリティ政策は最重要政策の一つとして継承される可能性がある。また、オバマ政権の8年間においては、ウィキリークスによる米国外交公電の暴露、エドワード・スノーデンによる国家安全保障局（NSA）の機密文書暴露、パナマ文書の暴露など大型の暴露事件が相次いだ。こうした事件への対応もトランプ政権にとっては重要になるだろう。オバマ政権の8年間を振り返り、トランプ政権の見通しを検討したい。

講師：土屋 大洋

（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授、国際大学 GLOCOM 上席客員研究員）



土屋 大洋（つちや・もとひろ）

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授。慶應義塾大学法学部卒業後、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科で博士号を取得。専門領域は、情報革命と国際政治、通信やインターネットに関する規制政策、グローバルガバナンスとIT。

開催趣意

技術革新のスピードはますます加速し、IoT・ビッグデータ・AI・ロボットなど最先端の情報通信技術分野において、日本の未来の礎ともいえる競争力が揺さぶりをかけられている。次々に登場する革新的な技術や概念的に確に対処し、日本がスピード感を失わずに新しい社会に移行していくためには、民産学官が協力してアンテナを張り巡らし、叡智を持ち寄って適切な公共政策や経営戦略に即時反映させることが求められる。

この時代の要請に応えるには、専門家による機動的かつ継続的な議論の場が必要である。表面的なニュースや無責任なコメント、ポピュリズムなどに惑わされることなく、異分野の専門家による幅広い検討とすり合わせを短時間に仕上げ、大まかな方向性を直ちに打ち出したい。再びガラパゴスに陥らないために、議論が国際的な広がりをもつことも欠かせない。その上で国民的な議論を喚起し、政策や戦略に速やかにフィードバックさせる機動性の高いメカニズムを社会に定着させていくべきである。

こういった専門家による議論の場として、民産学官の有志による「学術・政策プラットフォーム（仮称）」の発足を目指し、まずは勉強会等の準備会合からスタートすることとする。幅広い分野や経験、世代等にまたがる専門家の参加とインプットを期待したい。

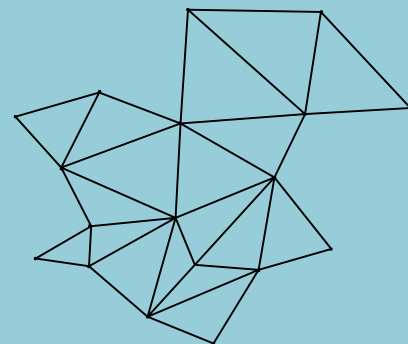
呼びかけ人：

今川 拓郎（総務省 情報流通行政局 情報流通振興課長）

渡邊 昇治（経済産業省 商務情報政策局 情報政策課長）

市毛 勇治（日本経済新聞社）

前川 徹（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター所長）



○参加対象者とお申し込み方法：

ご招待先一覧

- ・総務省、経産省、内閣官房 IT 総合戦略室の政策担当者
- ・総務省 地域情報化アドバイザー
- ・GLOCOM 専任・併任研究員、客員研究員、フェロー
- ・GLOCOM ERP 会員企業担当者
- ・日経デジタルコアのメンバー及びその紹介者

本イベントは原則、**招待制**とさせていただきます。

- ◎ご招待者の皆様には、別途お申し込みフォームの URL が記載された e メールを送付しますので、各自お申込みください。
※ e メールは、GLOCOM・総務省・経産省・日経デジタルコア事務局
いずれかよりご案内いたします

- ◎ご招待メールを受信されていない方で、ご参加希望の場合には、下記メールアドレス宛、またはお電話にてお問合せください。

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター
Center for Global Communications, International University of Japan
〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル 2 階

お問合せ先：



メールで app@glocom.ac.jp



お電話で **03-5411-6685** (担当：小林)